

平成30年

目黒区教育委員会

第40回定例会会議録

(平成30年10月30日開催)

第40回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成30年10月30日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	笹尾 敦夫
	教育委員会委員	後藤 幸子
	教育委員会委員	櫻井 道雄

出席職員	教育次長	野口 晃
	教育政策課長	山野井 司
	学校統合推進課長	和田 信之
	学校運営課長	村上 隆章
	学校施設計画課長	鹿戸 健太
	教育指導課長	田中 浩
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	寺尾 千英
	統括指導主事	古舘 秀樹
	生涯学習課長	馬場 和昭
	八雲中央図書館長	増田 武

書記		小野塚 幸隆
		山東 隆博

(議事日程)

- | | | |
|------|------|-------------------------------------|
| 日程第1 | 報告事項 | 平成31年度隣接中学校希望入学制度申込結果
(中間集計)について |
| 日程第2 | 報告事項 | 平成30年度いじめ問題を考えるめぐろ子ども
会議の実施について |

資料配布

- ・平成30年12月行事予定
- ・防犯ブザーの電池の再点検について(依頼)
- ・区内保育園における細菌性赤痢の発生後の状況と対応について

(午前9時30分開会)

- 教育長 第40回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員は中山委員です。欠席職員はございません。署名委員は後藤委員です。
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 平成31年度隣接中学校希望入学制度申込結果(中間集計)について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等がございますか。
- 委員 申込者数が多い目黒中央中学校は93人で、受け入れが25人となっていますので、人気が高いことがうかがえます。人気がある理由としては、どんなことが挙げられるのでしょうか。
- 説明員 目黒中央中学校は、二中、五中、六中の統合校で学区域が広域であるということもあり、隣接している地域も多いことから、数が伸びている状況があります。
また、統合の効果によって生徒数が増え、部活動等も活発に行われている。それから、改築をして、教科センター方式でつくった学校ですので、そういったところが保護者の方、あるいは進学をする児童から評価をされていると考えています。
- 教育長 その他ご質問等がございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 平成30年度いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議の実施について)

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等がございますか。
- 委員 毎回課題として、ファシリテーションする中学生の力の差異があつて、小学生の意見を引き出せているところと引き出せていないところ、発表だけに終わっているところ等、課題が終わった後に出てきていると思うのです。今年度は、昨年度の課題を踏まえて何か改善の準備などの計画があれば、教えていただきたいと思

います。

○説明員

鑑文の裏面、2ページにございますが、事前指導として(1)のエに「担当教員向けに行ったファシリテーション研修の内容を踏まえ」という文言を入れさせていただきました。

9月4日に、日本ファシリテーション協会から講師をお招きして、各学校から担当する先生方を対象とした研修を実施いたしました。その後、中学校区ごとに、当日に向けての打ち合わせをするというような会を持ったところです。

実際には、ブレインストーミングや自己紹介、ファシリテーションの講義の後、4人から5人のグループに分かれて、膝の上に直径1メートル程度の段ボールの円を置いて、膝の上にその段ボールを置きながら、いじめについて考えるというようなことを実際に先生方も体験をしながら行ったところ、好評でして、1回では物足りない、数回に分けて研修を受けたかったという声もありますし、実際に学校に持ち帰ってやりたいといった研修の感想も受けておりますので、今年度は昨年度と違う効果があってほしいと期待しているところです。

○委員

何かしらの効果があらわれることを期待しつつ、今回も何校か見せていただきたいと思うので、また終わった後の結果を報告いただければと思います。要望です。

○教育長

毎年、中学生がリーダーシップをとり切れない、司会進行の円滑な進行ができていない、もじもじ話していたり、場面によっては、小学生がリーダーシップをとっている子ども会議もありました。工夫は毎年改善しているとは思いますが、実際子どもたちにブレインストーミングの方法を教えているとは思いますが、ブレインストーミングとKJ法はセットなので、ブレインストーミングをしながら紙に書いてもらって、それをKJ法で分離していき、整理していくという方がオーソドックスな形です。ブレインストーミングがしっかりできれば、かなり意見は出てきます。黙ってられないわけですから。これは大きな期待感があるのですが、それをどう取りまとめるかという技法も司会と書記の方に教えておかないと、出てきた意見はいいけれども、それをどう類型化していくかという作業までしっかりとマスターしてもらいたいと思います。よろしくお願ひしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○説明員

ご指摘のとおり、そういったブレインストーミングなど、さま

さまざまな手法があると思います。K J法、あるいはワールドカフェ、ダイヤモンドランキング、こういった手法を学んで、当日使っていくというのは短期的には非常に効果があると思いますので、これから実施に向けて何ができるかということは、学校と担当者とで検討していきたいと思っています。

長期的な課題として、学級活動の中で話し合い活動がしっかり行われていくということが小学校の低学年から必要ですが、今そういった活動が、特別活動の時数の関係で、確実に行われていないところがあります。事務局としては非常に大きな課題だと思っております。自分たちで話し合っただけで学級をよくしようという活動がなかなか行われていないので、中学校に上がっても上手くいかないという現状もあるのではないかと危惧しておりますので、長期的に特別活動の充実を課題として取り組んでいきたいと思っております。

ですので、長期的な取り組みと短期的な取り組み、両方あわせて、こちらのいじめ会議の円滑なコミュニケーションが行われるような、そういった事前の準備をしていきたいと思っています。いずれにしても、昨年度から全児童・生徒が参加することになりましたので、間もなくすれば、中学生司会者は全員、小学校で体験している子どもたちが出てきますので、そこに期待をしていきたいと思っております。

○教育長 過日、教育委員会にも報告がありましたとおり、これまでの取り組みで、いじめの実態件数が確実に減ってきておりますけれども、全国での認知件数は4万1,000件増えています。これはカウントの仕方が変わったわけですが、いじめの実態はその4万1,000件以上にあるとは思っておりますので、その一環として、このいじめ問題を考えるめぐろ子ども会議は有用と思いません。これは意見です。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。

資料配布

- ・平成30年12月行事予定
- ・防犯ブザーの電池の再点検について（依頼）
- ・区内保育園における細菌性赤痢の発生後の状況と対応について

○教育長 以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時閉会)